

フレノック®液剤30

鉄道も、道路も、スッキリ。
ササ、ススキ、ヨシ(アシ)、ハマスゲの防除に



やっかいなササ、ススキ、ヨシのイネ科雑草及びハマスゲを選択的に防除します。

一般名	テトラピオン液剤
登録番号	第9898号
有効成分	テトラピオン 30.0%
系統	脂肪酸系
作用機作	脂質合成阻害(非ACCase阻害)
性状	紫色透明液体
毒性	普通物*
包装	15ℓ
有効年限	5年

*毒劇物に該当しないものを指している通称

対象作物
適用場所

- 樹木等（公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等）

特長

- 根部及び茎葉吸収移行型の選択性除草剤で対象雑草に強く作用します。
- ササ、ススキ、ヨシのイネ科雑草及びハマスゲを選択的に除草します。
- 長期間の伸長抑制効果と枯殺効果があり、鉄道、道路、工場用地等の緑地で広く使用されています。

登録内容

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	テトラピオンを含む農 薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、 駐車場、道路、運 動場、宅地、のり 面、鉄道等	ヨシ	出芽前～ 生育期	3～5ℓ	2回以内	植栽地を除く樹木等の 周辺地に雑草茎葉散布 又は全面土壌散布	2回以内
		ハマスゲ	生育期	1.5～3ℓ			
		ススキ ササ	秋冬期～ 生育初期				

* 本表では登録内容の一部を省略し、関連内容のみを記載しています。
 ※ 本表に作物名「樹木等」と記載していますが、本剤は直接樹木等に使用するものではありません。
 本表の使用方法、注意事項に従って、樹木等に影響を与えないよう注意してください。



ササ



ヨシ



ススキ



ハマスゲ

⚠ 効果・薬害等の注意

- すぎ、ひのき以外の造林地では使用しないでください。
- すぎの造林地では葉にかからないように散布してください。ススキの株数が多い場合(3000株/ha以上)でも処理薬量は原液で30ℓ/haを超えないようにし、又すぎの周囲半径60cm以内に、ススキ株がいくつあっても原液で3ml以上は散布しないでください。
- 薬剤量は直径30~50cmのススキの株を基準とした場合10倍液を50ml/株が適量ですが、株の大きさにより適宜増減してください。
- あかまつには強く作用するので付近にある場合はかからないように十分注意して散布してください。
- ひのきの造林地では薬害のおそれはほとんどないが、なるべく葉にかからないようにし、すぎの場合に準じて処理をしてください。
- 処理最適時期は雑草の出芽前~出芽初期ですので、この時期をはずさないように処理してください。この時期より遅れた場合、その年には外観上の効果が認められないこともあります。翌年の出芽は抑制します。効果がすぐ認められないからといって、繰り返し追加の散布はしないでください。
- 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬

- 害が生じることはないよう十分に注意して散布してください。
- 場合により造林木の下葉に黄褐変が認められることがあるが、上長成長に影響は認められません。
- 本剤を林地の地ごしらえ、又は開墾地に使用し、その年に栽植する場合は、散布後3ヶ月以内には植え付け、は種などを行わないようにしてください。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 公園、駐車場等に使用する場合は、本剤を10アール当たり50~200ℓの水に希釈し、よくかき混ぜてから散布してください。雑草生育期に散布する場合、希釈水量は対象雑草の種類、草丈、繁茂密度に応じて加減してください。
- 水源池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器、空瓶等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なく

- とも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- 保管：密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。